

## 博学連携ワークショップ 2022 ～博物館×学校×学習指導要領～

博物館と学校連携については、これまでもさまざまな連携事例が報告されてきましたが、さらに連携の質を高めていくためには、学校と博物館双方のさらなる理解が必要です。学校と博物館の理解を深めるために、1回だけの企画でなく、継続的に意見交換を行い、博学連携について考える場として「博学連携ワークショップ」を実施します。博学連携ワークショップはこれから1年間に数回実施します。

ワークショップのテーマは、「学習指導要領」の重要な視点である「新しい時代に必要となる資質・能力の育成」「社会に開かれた教育課程」「主体的・対話的で深い学び」の実現です。これを実現するための博物館と学校が協働で実践できる教育とは、どんなものでしょう。さまざまな事実や観察から「問い」を見つけ、その解を見つけるために、研究方法を考え、実際に調査・研究する学芸員の活動は、もしかしたら、学習指導要領の重要な視点につながるかもしれません。ワークショップを通して、博学連携について、一緒に考えてみませんか。初回は、2022年6月25日（土）に開催します。

### 博学連携ワークショップ 2022 第1回

・開催日時 2022年6月25日（土）13：00～16：15

・会場 大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

（最寄駅）Osaka Metro 御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m

JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m

・参加対象 学校教育関係者および博物館関係者

・定員 30名 ※申し込み多数の場合は、抽選となります。

・参加費 無料

・申込 6月17日（金）までに、申し込みが必要です。学校名や博物館名等所属・名前を書いて電子メール（[tm@mus-nh.city.osaka.jp](mailto:tm@mus-nh.city.osaka.jp)）でお申込みください。大阪市立自然史博物館ホームページのイベントページからお申込みできます。

・申込先・問合せ先

大阪市立自然史博物館 学校と博物館連携担当

・電話 06-6697-6221 メール [tm@mus-nh.city.osaka.jp](mailto:tm@mus-nh.city.osaka.jp)

・プログラム

13：00～13：10 博学連携ワークショップの趣旨説明など

13：10～14：00 博物館と学習指導要領に関する講演  
「連携する意義と学習指導要領」

美濃加茂市民ミュージアム 館長 可児光生氏

14：10～14：50 対話型鑑賞に関する講演

「?→! ～ サイエンスとアートの境界 ～ 」

15：00～15：50 大阪市立自然史博物館の資料を使って対話型鑑賞の体験

京都芸術大学アート・コミュニケーション研究センター 研究員  
春日美由紀氏

講師プロフィール

可児光生氏

2000年10月開館の準備段階から、地域のなかでのミュージアムのあり方をいろいろ気にしながら、今も試行錯誤中。ミュージアムは刺激と安らぎ、日常と非日常、身近と遠い世界...、多様なものが入り混じる不思議なところ。ここから「次」や「先」につながるきっかけの場になってほしいと願っています。

名古屋大学文学部史学科卒業。『博物館教育論』[共著]（講談社、2015年）ほか。



春日美由紀氏

専門領域は美術教育。1999年島根大学大学院在学中に「なぜこれがアートなの？」に出会い衝撃を受け、本書の訳者である福のり子に師事し、ACOP（Art Communication Project）を学ぶ。

35年間美術教諭としてACOPの実践を積む中、島根県にて対話型鑑賞の普及を努める「Art Communication in Shimane みるみるの会」を設立。フィールドは幼稚園から大学、美術館、企業までと多岐にわたる。本センター共同研究者を経て2021年度に着任。

教育学修士：日本美術教育学会会員：日本実践美術教育学会会員：安来市加納美術館理事



15：50～16：15 振り返り・意見交換など

※対話型鑑賞とは・・・「みる・考える・話す・聴く」の4つを基本に、鑑賞者同士のコミュニケーションを通して、美術作品を読み解いていく鑑賞方法。学

校現場では、美術にとどまらず、さまざまな教科で対話型鑑賞による実践が広がってきています。

- ・主催 大阪市立自然史博物館、特定非営利活動法人 西日本自然史系博物館ネットワーク
- ・その他 : 新型コロナウイルス感染拡大状況により、Zoom を利用したオンラインでの開催となる場合があります。

---

「博学連携ワークショップ 2022」2 回目以降の内容と日程予定

※テーマや回数は変更する場合があります。

※すべてのワークショップへの参加は必須ではありませんが、できれば複数回参加いただきたいです。

#### ■第 2 回

2022 年 8 月 3 日 (水) 終日 教員のための博物館の日

テーマ：博物館での「問い」のを見つけ方 講演と実践ワークショップ

(博物館のワークシートについての講演と「博物館で問いを考える」ワークショップ)

※教員のための博物館の日の一つのプログラムとして実施します。

#### ■第 3 回～第 5 回

日程未定

テーマ：学芸員の仕事を伝える展示キット「ジュニア学芸員になる方法 (仮称)」を作る。

(数回実施 学芸員の仕事を知り、それを伝える展示キットの企画、評価など)

10 月 第 3 回 学芸員へのお仕事インタビューとポスター作りワークショップ

1 月 第 4 回 展示キット「ジュニア学芸員になる方法」

※企画検討・途中段階の評価など、博学連携ワークショップでの進め方は検討中です。

3 月 第 5 回 展示キットのお披露目とシンポジウム

※「博学連携ワークショップ 2022」は、JSPS 科研費 JP19K01151 (研究課題名「新学習指導要領が目指す学びの実現を学校との協働で実践する博物館教育の研究」) を受けて実施します。